



芦屋市シルバー人材センター

はっらっ 芦屋

2006・7 夏号 No.2



メールアドレス ashiya@sjc.ne.jp

ホームページアドレス <http://www.sjc.ne.jp/ashiya/>

ベランダのペチュニアを訪れたナミアゲハチョウ
平田町で 撮影 笹部成雄 (会員番号873)

通常総会

念願の「ルナホール」で開催

素晴らしい雰囲気にもまれて・・・

平成18年度



準備万端整った会場にライトが点灯！ 拍手！

「次の総会は、ルナホールでも予約しないと・・・」
2年前の山村前理事長の挨拶が実現した瞬間です。

昨年の通常総会では、参加会員が会場から溢れそうになり事務局を慌てさせました。会員の総会に対する意識の高まりと、登録数500名に近づいた今年は、いつもの市民センターの会場では到底収まりそうになりません。

ということで、芦屋市シルバー人材センター平成18年度通常総会は五月晴れの5月25日、「ルナホール」での開催となりました。

常設の立派な会場での総会は、当センターの将来を象徴して、参加会員数も212名、委任状提出数193名を加え成立。

林理事長を始めとして山中芦屋市長、御来賓の皆様
の挨拶と続き、素晴らしい環境と音響効果が合いまっ
て、永年会員の表彰も一段と晴れやかに輝きました。

議事の審議では横山議長の滑らかな進捗と、会員の
活発な質問、事務局の丁寧な説明で無事終了。満場一
致で総ての予算、事業計画が採択され、平成18年度芦
屋市シルバー人材センターの行事がスタートにライ
ナップ。

別室の懇親会でも、料理と飲み物を手に、賑やかな
会話が弾み、ますますの発展を約束する活気漲る会と
なりました。

理事をはじめ会員の熱意、協力、本年度スタートし
た地域班による受付担当、そして事務局の周到な計画
と準備が平成18年度総会を成功に導いたといえます。

熱心に議事進行を見守る会員



林理事長



平成18年度の役員紹介



山中芦屋市長



永年表彰を受ける右から
宮本、鈴木、作田会員



中原新副理事長(右)の首頭で乾杯



議長の横山会員



会話が弾む懇親会場



司会の大重会員

研修バス旅行 近江・湖北路へ

早朝からすつきり晴れ渡った去る6月2日、2台のバスに71名が分乗して前期会員研修バス旅行が行われました。

長浜城では一豊と千代博覧会を鑑賞。湖北の秘湯「須賀谷温泉」では掛け流しの湯で日頃の汗を流しました。その後の宴会ではカラオケや日舞も飛び出して明日の活力への原動力となる楽しく、そしてなごやかな会員の更なる交流を深める一日となりました。



威風堂々の長浜城歴史博物館



須賀谷温泉でのなごやかな宴会



黒田節やデュエットは楽しい思い出に



綺麗に整備された彦根キャスルロードを往く



深い緑に包まれた国宝彦根城の美しい石垣



もちつきも体験

蘇った本通り商店街

百数十店の商店街が一瞬にして壊滅。

あの悪夢のような阪神淡路大震災から十一年。芦屋市の中心「本通り商店街」も見事な復活を遂げました。

事務局から第2国道を越え、まっすぐ南北に走る幅二十メートルの車道。その両側のモザイク模様の歩道に面して再建された店舗は約五十。いずれも粋をこらし、妍を競っています。

道ゆく人の心を和ませる色とりどりの花木。夕暮れとともにクラシック調の街燈が柔らかな雰囲気醸しだします。

隆盛の量販店に対抗。広すぎる道幅などの弱点を克服するため、各店それぞれに近代化、懐古調と特徴をアピール。そのなかで、木のぬくもりを大切にモダンな感じの喫茶店「Cafe O.D.A.」。香り高いコーヒーが出されるカウンターには、嬉しいことにわがセ



美しい町並みになりました



ンターの紹介パンフがさりげなく飾られています。

このマスターの心配りに、隣組の一員として「本通り商店街」の発展を願わずにはいられません。

このところ専門店の良さも次第に見直されてきました。買い物客も増え、昔のにぎわいを取り戻せるよう皆様の応援をお願いします。

取材 山本 徳高（会員番号730）



店内に飾られたパンフレット

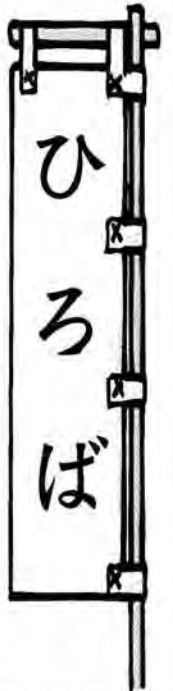
見ましたか？ この看板！

5月から、市内を走るノンステップバス（阪急バス）の扉横に、センター広告を掲載しています。

1年間、毎日3台が、何処をどの時間帯に走行しているかは???



もっともっと芦屋市シルバー人材センターを知ってもらうために、目立つ宣伝にしました。
仕事や遊びの行き帰り、散歩の時等など、これからは、バスを気にしてください。また、お知り合いにも宣伝してください。



チューリップ畑

つるはしで開墾

椎屋 久 (会員番号231)

緑化活動グループの花朗花壇会の井上様から、開墾協力の電話を受けました。

場所は潮芦屋公園の松林の一角で、女性では大変な仕事ですので、男性の力をお願いしたいとのことで

した。私は、何とかしましよと話を切りましたが、シルバー人材センターでボランティア

の協力者がいるか心配でした。

開墾の広さから複数の協力者が必要と思いい、除草班から有志を募ったところ精鋭4名の協力を得て、皆さん尻込みする方もなく気持ち良く引き受けて頂きました。

作業予定は2月4日、天気が心配

でしたが、ボランティア有志一宮園・酒井・前田・平塚の4氏と潮芦屋公園に集合。仕事の段取り、安全確認等の打ち合わせを行いました。

県から花壇作りの許可を受けられた井上様の指示に従い、小高い丘の松林の一角に八つの区画を設定(一区画は約一畝)。

まず、芝生をはぎ、開墾に取り組みましたが、石ころだらけの堅い土地にバチ鋏では歯が立ちません。皆で話し合い、重労働だが「つるはし」でないとは作業が進まないとわかり、無理を承知の挑戦が始まりました。

最初は、むかし懐かしい土方仕事だと豪語していた有志連も歳には勝てず、全員が交代しながら、やっとの事で掘削作業が終了しました。



気持ちよい汗をかいた除草班の面々
左から前田、平塚、宮園、酒井、椎屋会員

一服後、石ころを整理し、チューリップに適した土作りです。堆肥、マグアンプ、基肥、等を混ぜ合わせて整地。約千個の球根を植え付け、各区画毎に縄を張り巡らし、ボランティア作業が無事完了しました。

有志全員が久しぶりに心地よい汗をかき、奉仕活動に満足そうでした。チューリップはオランダだと思っていました。生まれ故郷は中近東だそうです。

「花言葉」

思いやり 愛の告白

青葙のあしや川

太田 兌子 (会員番号314)

業平橋あたりの青葙の茂るさまは、とても勢いがよい。でもあの特有の六甲風にはとても素直に靡いて六甲山からの清冽な水の流れに根を張っている。

そして稚魚たちが青葙のすき間をすばやく泳いでいる。蜻蛉も時折り葉先にゆれている。

燕もスツと降りては小休止する。そんな夏の日射しに溢れんばかりの緑となつて、辺りをすこやかな雰囲気にならせている。

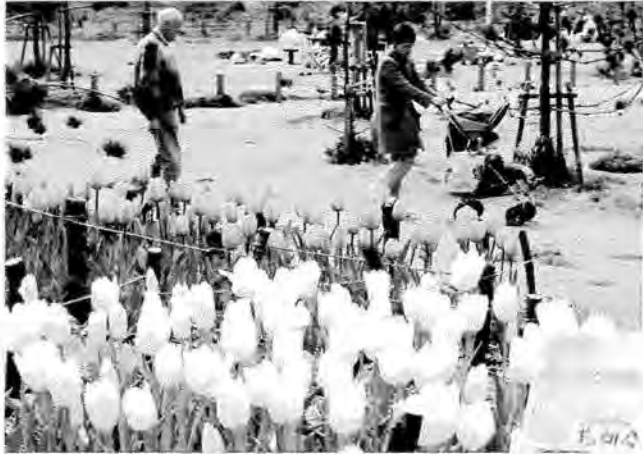
私はその逞しさに元気をもらい、朝の散歩を楽しんでいる。そんな青葙が大好きな私である。

鈴木 義行 (会員番号247)

長くて短い
夢を失った時
老いる
我ら青春
頑張ろう



見事な花をつけたチューリップ



楽吟集

宮本 允子

(会員番号26)

旅は贅沢なものでなくても、一、二泊のささやかなものであっても楽しい。特に女にとつては、日ごろの炊事洗濯から解放されて非日常を満喫出来る貴重な時間。心ゆるせる友と楽しい時を共有できるのは最高だ。

そこで今回の楽吟集は旅篇です。

先ずは出立前。

楽しきはささやかなれどわが旅を
思いて旅装とどのえしとき

さて、バッグはどれにしようか？寒そうならババシャツの一枚も入れて化粧品と薬とカイロも。切符は何度も確認し、後は飴玉とおかきと……。ああ、楽しいわあ。

女旅と隣り合わせた身の不幸
壊れたラジオより始末が悪い

往路の列車では嬉しさ楽しさ弾みまくって、オバサマたちは喋る、しゃべる、そして大声で笑う。子の自慢姑の悪口、昨日観たテレビ。話題はつきない。お気の毒なの

は、乗り合わせた企業戦士たちだ。

ボディスーツから解放された贅肉が
ブルンブルンと揺れてる湯舟

誰もが大好きな温泉で解放されるのは心だけではない。中高年の女につき易い皮下脂肪。一センチでも腰のくびれを見せたくて着用している下着から身も心も解き放たれる時である。極楽、ごくらく。

露天風呂太いの細いのとりまぜて
お尻並べて日の出を拝む

宿に着くなり温泉。寝る前も朝風呂もフルコースでリフレッシュ。知らない人たちとも知らない土地の朝日を拝み、幸せを共感する。

朝食はつい食べ過ぎるバイキング
食後に取り出す薬の袋

和食洋食チャンポンで、日ごろの三倍は食べてしまった。爪楊枝を使い、コーヒを飲んだら、みんな申し合わせたように薬を飲む。この人たちって病人なの？

最後にちよつとキレイな短歌を。

温泉街下駄を鳴らして行き来する
誰もが日々の垢を落として

ナツメロ同好会発足

「はつらつ昔屋」創刊号での同好会のお誘いに現在十数名の会員が集まっています。

しかし会場の設定、日時の事等色々難題をかかえております。皆様の中で会場等適当な場所をご存知の方、お力になっていただけませんか。カラオケボックスが一番良いと思われませんが飲食物の持込みが出来ないようです。

センターの会員の皆様の親睦と歌う事の心のやすらぎを兼ねた会に何卒ご協力下さい。

連絡先 347818 北野 章



南宮町の江尻川会館にて

わが家のお宝

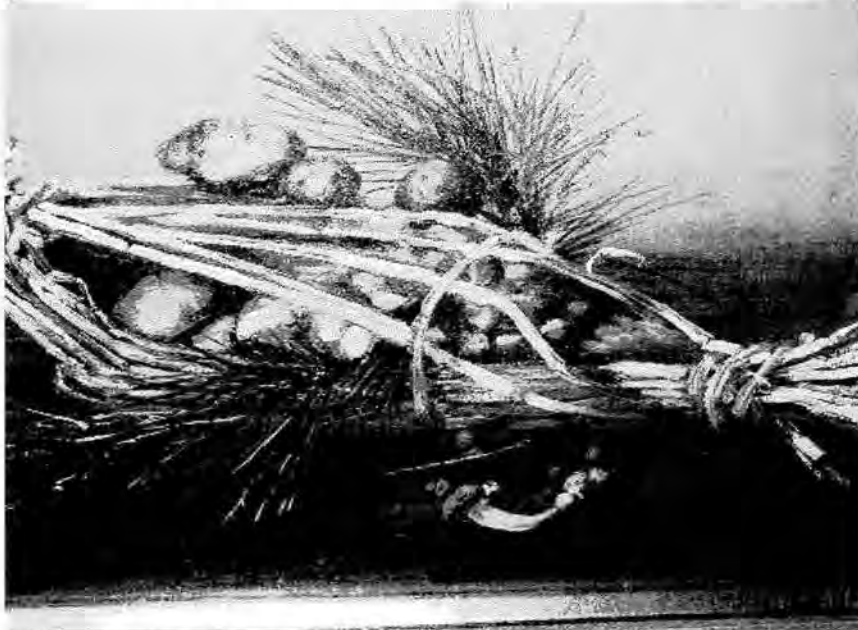
鈴木 一生
(会員番号1039)

一昨年他界した父が昭和27、28年ごろ当時の金額で20万円ほど融通し、その代理弁済として昭和30年ごろ受け取った「ラグーザお玉」の静物油彩画です。造船・繊維ブームの当時一流企業の初任給が八千九千円だった時代でした。

テレビ東京「なんでも鑑定団」で2003年5月27日放送（関西はテレビ大阪）されて、ご覧になった方もおられることと思います。

十数年前日経新聞の文化欄に「ラグーザお玉」に関する記事が掲載され、常々「これは本物だ」といつていた父でした。その父も痴呆の進行に併せて不整脈などで入院し、記憶がはつきりしている間に機会があれば一度鑑定を・・・と思っていたとこ

「なんでも鑑定団」に出演



ろ「なんでも鑑定団」で放送される機会に恵まれました。
2002年4月、NHKで「ミツコ、二つの世紀末」という番組

が再放送され、フランス・ゲラン社の香水「ミツコ」でその名を知られる「青山ミツ」ことフランス

<http://papina-kounan.hp>

infoseek.co.jp/handemo.htm

50年ぶりの帰国後、清原家が用意したアトリエで創作を続けた作品「椎茸」

知られています。

それに対し明治初期、殖産興業を推進するために設けられた工部美術学校（現東京芸大）の彫刻担当ピンチエツオ・ラグーザに嫁いだ「清原玉」こと「ラグーザお玉」のことは、一般にはあまり知られてはいません。私の評価額100万円に対し、鑑定額は200万円でした。「なんでも鑑定団」の放送は私のホームページで見ることが出来ます。

伯爵当主となったグーテンホーフ・光子。アメリカ・モルガン財団のジョージ・D・モルガンに見初められ、身請けされて渡米した京都祇園の芸妓・初雪の「モルガン・お雪」。さらに古くは下関の「唐人・お吉」などは、近世の女性日本史に一般的にその名をよく

はつらつギャラリー開設

次号から裏表紙（カラーページ）を会員のギャラリーとして活用下さい。

写真・絵画・手芸などの発表の場として活用して頂ければ幸いです。

奮ってご参加をお願いいたします。

健康の秘訣

やる気満々83歳

山田次男さんの巻

用意周到な仕事着
(膝には二重の布当てがついている)に身を包み、山田次男さんはお昼休みに入られたところをインタビューにに応じてくださった。

大正12年生まれの83歳、血色の良い柔らかなお顔、当センタ



風薫る中、仕事に励まれる山田さん (会員番号399)

人生は今から

1に入会以来8年間ずつと除草の仕事に就かれて、今なおやる気満々。あと10年は頑張りたいなあとおっしゃるその意欲と体力の源はどこに？

朝は4時半起き、キナ粉牛乳を欠かさず、食事は和食。5時すぎ仕事前の軽いウォーキングは山手町周辺の山麓を1時間20分程かけて、とにかくよく歩き、絶えず体を動かす。因みに山田さんの趣味は山歩き、時には青春キップを使って何処へでも出かけるのとこと。写真の立膝姿勢は足腰がしっかりとっていないと続けられないと思うが、日頃のこうした運動が体力作りに役立つとお見受けした。煙草はやらない。お酒は程々に。丈夫に産んでくれた親に感謝を忘れず、脳の活性化の為に手先を動かすことが大切だと訥々と話される様子に只々脱帽である。

取材 北川知可子
(会員番号557)



ペットご披露



カン又生まれの美人？ 特別扱いで入国

我が家の猫は南フランス、カン又生まれの18歳。アンティ・ヴ通りのペットショップに可愛い動物達を見に立ち寄ったのがこの猫との出会いであった。猫好きの娘と私、すぐ猫のコーナーへ。血統書付の猫もいたが、白い靴下をはいたような足、なんとも愛嬌のある顔。店の人が「この猫は雑種で売れ残り。大きくなりすぎて商品にならず処分する」という。私は旅行者であることも忘れて、「この猫私に下さい！」と叫んでしまった。

娘がフランス留学中はこの猫の世話をすると約束してくれ、「ノヤ」と名付けた。娘は異国の地での不安や寂しさを猫のノヤと共に乗り越えた。手紙にはいつも猫のニュース。私は遠く日本で成長を見守っていた。

留学を終え、帰国の時、獣医さんに猫のパスポートを発行してもらってノヤは娘と一緒に日本にやってきた。当時は猫の検疫がなく食肉と同じ扱いで入国。日本にも19歳になる老猫「アリ」がいて、うまくやってゆけるかと心配したが、1週間もすると互いの警戒心もなくなり、りひと安心。



ノヤは娘にべったりで、フランス語でコミュニケーション。「チュ、エ、パール(君はかわいい、美人？美猫だよ)」はノヤの一番好きな言葉で、喉をゴロゴロならしてご機嫌である。

娘は遠くイギリスに嫁ぎ、今は私の傍らにいて穏やかな日々を過ごしており、時には私の癒しとなっている。真っ黒だった毛並みも白い毛が混ざり老猫になったノヤ、人間と同じように長寿になった動物、介護がいるようになるのだから？いつまでも元気でいてほしい。

坪内美津子
(会員番号1082)

職人の技・割烹

音羽茶屋

芦屋のグルメ



センターを出て国道2号線に沿って東

に向かつて行くと山の手側に音羽茶屋・芦屋店がある。新年会・忘年会他各種宴会及び祝膳・慶弔膳等で町内会、老人会他、芦屋市民には、先刻お馴染みのお店である。京阪神に36店舗ある音羽グループの一つで、芦屋店は昭和63年7月開業と言うから、現在地に根を下ろして早や19年近くになる老舗である。

一方、芦屋シルバーにとつては、仕事を頂くお得意先でもある。

筆者は当店のポイント会員である。日頃気軽に行ける程財政が豊でない我が家にとつて、家族全員のお誕生会を開くのが唯一の贅沢である。毎年1月は夫婦二人の誕

生会（偶然誕生月日が同じ）で、

7月は家族の誕生会を開く。今先まで生簀を泳いでいた魚をまな板に載せて刺身にしても頭や尻尾はお皿の上でびくびく動いている。食前酒に始まり、色々趣のある器に彩りよく盛り付けられた各種料理は見た目も鮮やかで、手を付けるのが惜しいほど。

ひと品ずつ出来上がる都度運ばれてくる料理を堪能したあと、結びに出てくるのが写真の如きスウィーツ盛り合わせである。

職人技とはいえ、手間をいとわずによくまあこんなことが出来るものだと、心の底から目出度くなくて来るから不思議である。二人ならんで記念写真、更に伝票を見て二度びつくりのサーブス価格である。是非一度お試しあれ。

定休 無し（年中無休）
住所 芦屋市楠町11-19
☎ 0797-22-3800
取材 一瀬 奎次郎（会員番号410）



デザートのお皿にお祝いの言葉が・・・

レ・シ・ピ

涼風そうめん

食欲の落ちる梅雨から夏にかけては、栄養面で少し偏ります。卵をスクランブルにするなど一緒に召し上がるとバランスが良いかと思えます。野菜を増やしたいなら、茹でた茄子、オクラ等も。油揚げをトースターで両面焼いて刻んだものもなかなか美味しいですよ！

◆つけ汁の作り方

1. 干しえび10匹位を30分程ぬるま湯につけ戻す。
2. 戻し汁をかつお昆布で取ったダシに加える。
3. だし汁200cc、みりん50cc、しょうゆ50ccの割合でひと煮立ちさせる。



◆材料（2人分）

そうめん	100g
きゅうり	半本
プチトマト	2個
薬味	卵・おろし生姜・わさび・切りゴマ・柚子胡椒・葱の小口切り etc

つくりにかた

そうめんの茹で時間は、標準どおり（お好み次第）。茹で上がった後、手早く水洗い後、氷水を作っておいたボールの中で3回位かき混ぜ、ザルにあげてしっかり水切りしておく。

一口ずつの大きさをまとめて、皿に盛る。プチトマトときゅうりの輪切りを飾り、氷をのせる。

杵田 瀬津子(会員番号851)

ホームページ完成!

半世紀前、今日のマイカー時代を想像したでしょうか。四半世紀前、一人が一台のテレビを持ってると想像したでしょうか。今やマイカーは私たちの日常生活で「足」として時間と空間を広げることができません。

同様に、「パソコン」もひとつの「道具」として活用、特にインターネットの活用は新しいメディア（情報媒体）として私たちの生活を豊かにすることができません。

当センターも従来の「事務局だより」、会員による広報誌「はつらつ芦屋」に加えてホームページを開設することになり、その制作に過去の経験を活かして携わりました。

会員の支えが必要

「会員による、会員のための、会員のページ」

です。ホームページの維持・管理は会員の支えが必要不可欠です。

そこで、有志が集まって「パソコン・クラブ」を試験的に開催しております。パソコン操作、技術を持つ会員が集い、ホームページの維持・管理・運営を行っていただければと思っております。また、将来的に「パソコン出前教室」、「ホームページ作成」、「データベース作成」、「パソコン修理」、「住所録作成」、「年賀状作成」などパソコン関連事業へと発展していければと、皆様の「パソコン・クラブ」へのご参加をお待ちしております。

ホームページへのアクセス方法は、最終ページをご参照ください。



ホームページ作成に取り組む鈴木広報委員

編集後記

「はつらつ芦屋」も第2号となり、上述の如くホームページが完成しました。これはまず最初に特記すべきことです。第1号の経験を活かして編集作業が段取りよくスムーズに行うことが出来ました。

こうした中で、本号より『編集後記』は6人の広報委員が持ち回りで担当することとなり、そのしよっぱな私・一瀬が選ばれました。大変名誉で有難いことです。

シルバーでの仕事は、入会以来6年続けているマンションの清掃です。昨夏、広報の仕事を手伝わないかとの『事務局だより』の誘いにいち早く応募して間もなく、山手町の外人宅の庭の草むしりという第2の仕事ももらいました。

足を使って歩き回るとい仕事は大好きです。広報の取材の仕事も然りです。

妻の介護を入れると毎日が正直、目の回るような忙しさですが、足による健康維持と、知的能力不足を補足して下さる周囲の方々の

温かいご協力を得て、シルバーの仕事はすべて何とか無難にこなし、勤続10年選手になるのが私の夢です。

『編集』の仕事は毎日が勉強です、頭を鍛え、足を使って身体を鍛えるという願ってもないよき仕事を得たことを神に感謝し、「はつらつ芦屋」だけでなく、芦屋市シルバーの発展のために微力ではありますが、お役に立って行けたらと願っています。

	会員数	平均年齢	最高年齢	就業率
男	296	69.9歳	83歳	79.4%
女	186	68.9歳	93歳	79.6%
合計	482	69.5歳	—	79.5%


平成18年5月31日現在

平成18年度 芦屋市シルバー人材センター安全標語

慣れ油断 体調不良は
事故のもと

ホームページを見るには??



1. インターネットに接続している条件が必要です。
2. (ア)
「スタート」クリック→「インターネット・エクスプローラー」でクリックします。
- (イ)
 のボタン(アイコン)を「ダブル・クリック」又は「クリック」し、「Enter」(エンター)キーを押します。

何れかのホームページが表示されます。その画面の下記の場所、(a)又は(b)に、



- (a)「アドレスバー」に「http://www.sjc.ne.jp/ashiya/」と入力し「Enter」(エンター)キーを押す。
- (b)ここに「芦屋市シルバー人材センター」と入力し「検索」ボタンを「クリック」する。
「ヤフー」が画面にない場合は(a)の方法となります。



4. (a)の場合
左の「(社)芦屋市シルバー人材センター」のホームページ画面が表示されます。次からはアドレス・バーにその都度入力しなくても下向きボタンをクリックすればリストが表示されます。「http://www.sjc.ne.jp/ashiya/」を見つけて、そこで「クリック」すればOKです。



- (b)の場合
青いタイトル文字で「(社)芦屋市シルバー人材センター」があればそこで「クリック」すればOKです。

いずれの場合も「お気に入り」に登録しておくことをお奨めします。